

地域貢献に関する情報について

平成16年 11月

株式会社 佐賀銀行

地域貢献に関する情報開示について

平成15年3月28日に金融庁により公表された「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」において、地域貢献に関する情報開示が求められました。

地域に根をおろす地元の銀行として、地場産業の振興・発展をお手伝いするとともに、地域社会の皆さまの豊かな生活づくりと地域文化の向上にお役立つという考えに基づき、地域への信用供与の状況、地域のお客さまへの利便性提供の状況、地域経済活性化への取組状況、地域への各種支援活動の状況についてまとめました。本情報開示は本年5月に続き今回で三回目となります。

(注1)「地域」の考え方

佐賀銀行は、明治15年に設立された伊万里銀行を淵源とし、佐賀県内の多数の銀行による合併、統合の歴史を経て、昭和30年7月に設立されました。「佐賀で生まれ」「佐賀で育ち」「そして福岡へも」と発展しており、佐賀県・福岡県を主要な営業地盤と考えています。

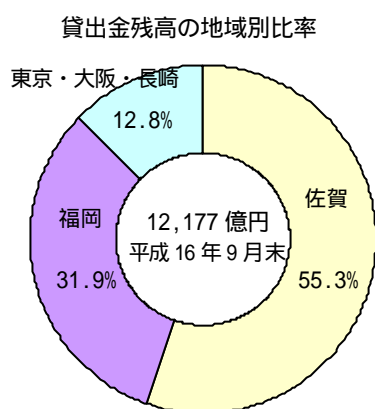
(注2)以下の計数につきましては、単位未満は切捨てにて表示しています。

1. 地域への信用供与の状況

(1) 貸出業務全般の状況

地域向け貸出金残高、貸出金比率

平成16年9月末		単位：億円
項目	金額	
佐賀県内向け貸出金残高 (A)	6,732	
福岡県内向け貸出金残高 (B)	3,893	
東京・大阪・長崎県への貸出金残高	1,551	
総貸出金残高 (C)	12,177	
佐賀・福岡県向け貸出金比率((A)+(B))/(C)	87.2%	



地域向け業種別貸出金残高、貸出先数

平成16年9月末		単位：億円		
貸出金残高	合計	うち佐賀県	うち福岡県	
製造業	959	600	195	
建設業	851	497	299	
卸売・小売業	1,615	729	732	
金融・保険業	484	21	81	
不動産業	1,199	377	770	
各種サービス業	2,384	1,592	637	
地方公共団体	776	720	54	
その他	3,907	2,194	1,121	
合計	12,177	6,732	3,893	

平成16年9月末		単位：先		
貸出先数	合計	うち佐賀県	うち福岡県	
製造業	2,103	1,378	596	
建設業	3,670	2,385	1,162	
卸売・小売業	4,509	2,893	1,419	
金融・保険業	121	58	45	
不動産業	926	341	541	
各種サービス業	6,184	3,930	2,091	
地方公共団体	52	46	5	
その他	59,246	43,065	14,678	
合計	76,811	54,096	20,537	

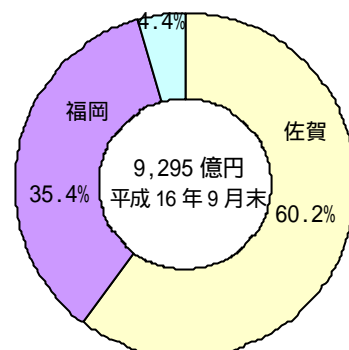
(2) 中小企業向け貸出業務の状況

地域の中小企業向け貸出金残高、貸出先数、貸出金比率

平成16年9月末 単位：億円

項目	金額
総貸出金残高 (A)	12,177
中小企業等貸出金残高 (B)	9,295
中小企業等貸出比率 (B)/(A)	76.3%

中小企業向け貸出金残高の地域別比率
東京・大阪・長崎



平成16年9月末 単位：億円

項目	金額
中小企業等貸出金残高 (A)	9,295
佐賀・福岡の中小企業等貸出金残高 (B)	8,890
地域の中小企業等貸出金比率 (B)/(A)	95.6%

平成16年9月末

項目	合計	うち佐賀県	うち福岡県
中小企業等貸出金残高(億円)	9,295	5,602	3,288
中小企業等貸出先数(件)	76,530	54,005	20,430

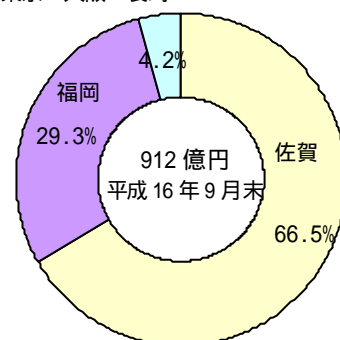
(注) 中小企業等とは、資本金が3億円(ただし、卸売業は1億円、小売サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員数が300人(ただし、卸売業、サービス業は100人、小売業は50人)以下の会社及び個人をいいます。

地域の保証協会保証付貸出金残高

保証協会保証付貸出金残高の地域別比率
東京・大阪・長崎

平成16年9月末 単位：億円

項目	金額
保証協会保証付貸出金残高	912
うち佐賀	607
うち福岡	267



中小企業向け融資商品(新商品・新サービス)

- ・ 「佐賀県CL融資(佐賀県信用保証協会保証付)」
佐賀県内の中小企業の皆さまの資金調達が多様化・円滑化を支援し、経営の安定にお役立ていただくために佐賀県CL融資(佐賀県信用保証協会保証付)の取扱いを行いました。
融資の実行は32件の885百万円となりました。
- ・ 各県信用保証協会との提携による中小企業向け融資商品の販売
 - ・ 佐賀県信用保証協会との提携により設備投資支援貸付「アタック」の取扱いを開始しました。本商品は、原則第三者保証人が不要で、融資期間は最長15年、融資限度額は1億円以内で設備資金(設備に伴う増加運転資金を含む)にご利用いただけます。
 - ・ 福岡県信用保証協会と提携し「中小企業資金供給システム“元気フクオカ資金”」の取扱いを開始いたしました。本商品は、無担保、第三者保証人不要、借入期間最長10年などの特徴があり、ご融資金額は最高で5,000万円までとなっています。
 - ・ 長崎県信用保証協会と提携し中小企業向け融資商品「パワーアップ3,000」「パワーアップ1,500」の取扱いを開始しました。本商品は、運転資金、設備資金いずれにもご利用いただけます。無担保かつ第三者保証人不要、保証協会の申込受付後原則3営業日以内に審査結果を回答します。

(3) 個人向け貸出業務の状況

地域の個人向け貸出金残高、貸出件数、貸出金比率

平成16年9月末 単位：億円

項目	金額
総貸出金残高 (A)	12,177
個人向け貸出金残高 (B)	3,057
個人向け貸出金比率 (B)/(A)	25.1%

(注)個人向け貸出金 = 消費者ローン + 住宅・アパートローン

平成16年9月末 単位：億円

項目	金額
個人向け貸出金残高 (A)	3,057
佐賀・福岡の個人向け貸出金残高 (B)	2,988
地域の個人向け貸出金比率 (B)/(A)	97.7%

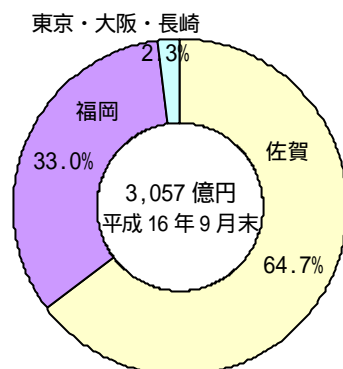
平成16年9月末 単位：億円

個人向け貸出金残高	合計	うち佐賀県	うち福岡県
消費者ローン	676	476	180
住宅・アパートローン	2,380	1,501	829
合計	3,057	1,978	1,009

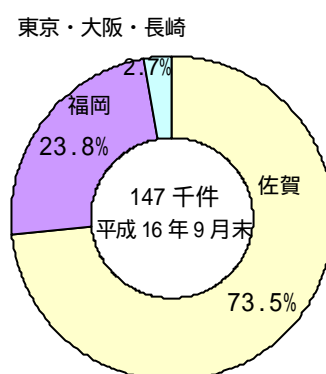
平成16年9月末 単位：千件

個人向け貸出件数	合計	うち佐賀県	うち福岡県
消費者ローン	126	93	29
住宅・アパートローン	20	14	6
合計	147	108	35

個人向け貸出金残高の地域別比率



個人向け貸出件数の地域別比率



個人向けローン商品（新商品・新サービス）

・「住宅ローン関連」

- ・住宅金融公庫の証券化事業支援事業を活用した長期固定金利の新型住宅ローン「さぎん長期固定住宅ローン(公庫買取型)」の取扱いを平成16年9月より開始しました。
- ・住宅ローン「さぎんあっとほー夢」および住宅ローン「借換キャンペーン」の金利優遇期間を平成17年3月まで延長いたしました。本キャンペーン期間中に限り、特約期間付固定金利の3年を1.1%、5年を1.6%でお取扱いいたします。なお、当初の特約期間終了後も残りの全期間を、基準金利(店頭金利)から0.3%優遇した金利でご利用いただけます。(金利は金融情勢等によりキャンペーン期間中であっても変更させていただく場合があります。)

・「マイホームセンター」

住宅ローンを中心に新築、リフォームなどの資金等に関するご相談をお受けします。これまでの佐賀市、福岡市に加え、平成16年10月12日より鳥栖市、唐津市にもマイホームセンターを新たに設置することにより、お客さまの利便性向上を図りました。

- ・佐賀市（呉服町支店兵庫出張所内）（佐賀社会保険病院前）
営業時間 平日、土曜日 9：00～17：00（日曜・祝日はお休みさせていただきます。）
- ・鳥栖市（鳥栖支店鳥栖東出張所内）
営業時間 平日 9：00～17：00
- ・唐津市（唐津支店内）
営業時間 平日 9：00～17：00
- ・福岡市（福岡支店内）
営業時間 平日 9：00～15：00

2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

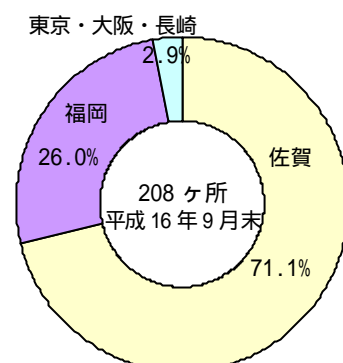
(1) 店舗等チャネルの状況

平成16年9月末

単位：ヶ所

店舗の設置	合計	うち佐賀県	うち福岡県
支店・出張所（有人店舗）	113	68	39
店舗外ATM（無人店舗）	95	80	15
合計	208	148	54

有人・無人店舗の地域別設置比率



平成16年9月末

項目	合計	うち佐賀県	うち福岡県
有人・無人店舗設置市町村数	66	46	15
店舗設置市町村の割合（%）	-	93.8%	15.6%

平成16年9月末

単位：ヶ所

ATMの設置	合計	うち佐賀県	うち福岡県
当行ATM	206	147	54
相互開放金融機関ATM（注）	779	8	474
合計	985	155	528

（注）相互開放金融機関（十八銀行、筑邦銀行、西日本銀行）のATM（一部を除く）は、手数料無料でご利用いただけます。ただし、ご利用日（土・日・祝日）、ご利用時間帯により所定の利用手数料がかかることがあります。

ATMの取扱状況(16/4～16/9)

平成16年度上期(1か月平均)

単位：千件

合計	支払い	入金	通帳記帳	残高照会	振込
2,363	1,078	477	409	215	183

(2) 預金業務等の状況

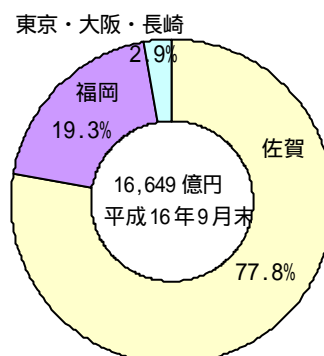
地域の預金残高、預り資産の残高

平成16年9月末

単位：億円

項目	合計	うち佐賀県	うち福岡県
預金	16,649	12,957	3,220
うち流動性	7,822	6,188	1,452
うち定期性	8,827	6,768	1,768

預金の地域別比率

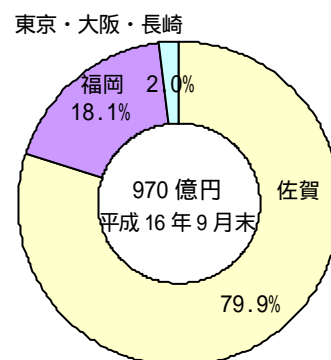


平成16年9月末

単位：億円

項目	合計	うち佐賀県	うち福岡県
預り資産残高	970	775	176
うち公共債	497	440	51
うち投資信託	210	118	87
うち保険商品	262	216	36

預り資産の地域別比率



決済サービス等の状況

平成16年9月末

単位：千件

預金口座数	財形貯蓄		給与振込 (受託者先数)	年金振込 (件数)
	うち普通	うち定期 (契約口座数)		
2,518	1,762	684	13	185

公共料金の自動振替取扱状況

平成16年9月末

単位：千件

合計	電気料	電話料	NHK受信料	水道料	ガス料
755	163	252	104	129	105

地域のお客さまへの利便性提供に資する取組みの状況

・「創立 50 周年記念商品」

当行は平成 17 年 7 月に創立 50 周年を迎え、お客さまへの感謝を込めて平成 16 年 7 月より以下の二商品の取扱いを実施しました。

創立 50 周年感謝「懸賞(旅行券)付定期預金」

A．新規に預け入れしていただいたお客さま(100 万円につき 1 口の抽選権)より抽選で 5 万円旅行券を 100 本、5 千円の旅行券を 600 本進呈します(総額 100 億円、取扱期間平成 16 年 7 月 1 日～8 月 6 日)。

B．既に定期預金をお預けいただいているお客さま(定期預金を 100 万円以上のお客さまで一人 1 口の抽選権)より抽選で 5 千円旅行券を 1,600 名様に進呈します。

(注) A、B いずれも平成 17 年 6 月末の残高を基準に抽選を行います。

創立 50 周年感謝「さぎんらくらく特別 thank you ローン」

「さぎんらくらくローン」の通常の適用金利は、お取引に応じて 5.5%～12.5%となっておりますが、本商品は金利を 3.9%～12.0%へ優遇いたしております。

(お取扱期間 平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月末)

・「ジャスコ大和支店」

個人のお客さま向けに預金、ローン、バンクカードなどをお受けしています。

営業時間は平日・土・日・祝日の午前 10 時から午後 6 時までです。

(イオンショッピングタウン大和の休日や 12 月 31 日～1 月 3 日は休業します)

・「さぎんテレホンサービスセンター」

「さぎんテレホンサービスセンター」では、電話によるローンの受付や、定期預金の満期案内、国債、投資信託の商品案内を行っています。

営業時間 平日 9:30～17:00 電話 フリーダイヤル 0120-874-312 話す サイフ

・「F A プラザ“みらい”」

佐賀銀行本店内にある「F A プラザ“みらい”」では、相談業務を専門とする C F A (チーフファイナンシャルアドバイザー) 3 人が様々な資金運用のご相談をお受けしています。

また、資産運用・管理、相続、事業承継など複雑で専門性が求められる分野に対しては、F A プラザ“みらい”以外に C F A を 5 人配置(鳥栖支店 1 人、唐津支店 1 人、福岡支店 3 人)しています。

さらに、全店に 548 人(養成中を含めると 812 人)の F A (ファイナンシャルアドバイザー) を配置し、幅広いご相談に適切にお応えする態勢を整えています。

・「年金相談会」

佐賀県内のお客さまを対象に、年金の受取りや受給の手続き等に関する相談会を開催しています。平成 16 年度上期(4～9 月)は、県内各支店で 40 回の年金相談会を行いました。

・「A T M サービスの拡充」

全国的に増加している盗難・偽造カードによる不正引出しへの対策として A T M での「暗証番号変更」、「1 日あたりのお引出し限度額変更(減額)」の機能や、休日・窓口時間外でも A T M での「通帳繰越」ができる機能の追加を平成 16 年 10 月より順次行うなどサービス面の拡充に努めております。

3. 地域経済活性化への取組状況

(1) 地元企業に対する経営サポートの状況

地元企業の経営相談等への取組状況

人材教育を含む情報提供やビジネスマッチングについては、さぎん情報クラブ「リンクス」において平成16年上期にWEBサイトを利用した新サービスの提供が始まり、また、産官連携のビジネスマッチングの事業化(佐賀BMP)については、当行とシステム共同化を目指す三行共同化のメンバー(十八銀行、筑邦銀行、当行)間でのビジネスマッチングモデルを現在構築しており、本年度中のサービス開始に向け、三行および協力団体となる各機関と協議をすすめています。

平成16年度上期は、「リンクス」で各種研修やセミナー、クラブ会員への情報提供等に取組みました。また、佐賀県が主催した佐賀県内の中小ベンチャー企業によるビジネスプラン発表会である「SAGAマーケティングプラザ」に協力団体として参加しました。

行内外研修につきましては、中小企業の経営改善に向けて、企業の問題点や課題解決の方向を見出して支援への取組みができる人材の育成を目的として実施しています。

地元企業の再生への取組状況

中小企業の過剰債務構造の解消・再生のため、具体的な再生プログラム(佐賀県中小企業再生支援協議会、DES、RCCなどの手法)の策定・実施に取り組んでいます。

組織面では、平成16年1月に企業支援・再生の専担部署として審査第二部内に「企業支援グループ」(6名体制、うち3名は中小企業診断士)を新設し、さらに平成16年4月より特定の業種について業種別審査を導入するなど企業を再生・支援していく取組みを強化しました。

平成15年4月から平成16年9月までに、当行メインのお取引先で私的整理により2社(再生スキームの中でDESを導入)が再生し、他行メインお取引先でも私的ガイドライン適用が1社と産業再生法適用により1社が再生しました。

また、平成16年3月、中小企業を対象にオリックス株式会社及びオリックス債権回収株式会社と企業再生ファンドを組成しました。このファンドは、複数行の参加も想定した広域型企業再生ファンドであり、ファンドの活用により再生可能なお取引先企業の事業及びバランスシートの再構築を図ってまいります。

行内外研修につきましては、企業再生支援に関する人材(ターンアラウンド・スペシャリスト)の育成を目的として実施しています。

(2) 企業の育成への取組み

創業・新事業支援機能強化のため産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携、「産業クラスターサポート会議」への参画などに取り組んでいます。

(公的機関の技術評価を元にした支援)

佐賀県で推進している「経営革新支援法」、「目指せ儀右衛門(助成金)」、市場可能性評価等に係る対象企業への支援を実施

(ベンチャーファンドの組成の検討)

平成16年2月に当行の関連会社である株式会社佐銀ベンチャーキャピタルと共同で総額5億5百万円の投資事業有限責任組合(ベンチャーファンド)を設立しました。本ファンドを活用し、ベンチャー企業や株式公開予定企業の支援を行っています。

また、日本政策投資銀行をはじめとした政府系金融機関等四行と「業務協力協定」を締結しました。この提携を創業・新事業支援、事業再生に活かしていくとともに新しい金融手法への対応や地域経済の発展などについて情報交換や研究を進めています。

(起業家教育)

第9期鳳雛塾(ほうすうじゅく)を16年7月より開催しています(受講生35名)。佐賀県、佐賀大学等と連携して佐賀県版ビジネススクールを当行主導で実施しています。平成15年10月「日本地域情報化大賞2003(日本経済新聞社主催)」受賞を契機として、本年8月より富山県において「富山鳳雛塾」が発足しており、全国初の民間レベルでの地域間連携として注目を受けています。

その他の起業家教育

- ・当行が事務局を務める「SAGAベンチャービジネス協議会(産学官連携の任意団体)」が本年度より佐賀市主催の小学生向け起業家教育「キッズマート」事業に受託団体として参画し、平成16年9月から11月にかけて佐賀市内小学校2校で総合学習時に起業家教育を実施

(産学官連携の各種研究会、交流会等への参加)

平成16年度上期は、以下の研究会、交流会等に参加いたしました。

- ・佐賀県地域産業支援センター主催「地域プラットフォーム事業連携会議」、「ベンチャー交流ネットワーク」
- ・雇用能力開発機構佐賀センター主催「ベンチャー企業等支援ネットワーク会議」
- ・佐賀市主催「新産業創出セミナー」、「佐賀市異業種交流会～Sogans～」
- ・佐賀大学主催「佐賀ハイテク研究会」、「産学官連携セミナー」

(北部九州地区産業クラスターサポート金融会議への参加)

- ・平成16年3月に九州経済産業局管轄の助成金「技術開発関連補助金」の交付決定企業に対する「つなぎ融資」制度を創設
- ・当行の斡旋によりお取引先1社がK-RIPおよび九州半導体イノベーション協議会へ入会

(行内外研修)

企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材(「目利き」のできる人材)の育成を目的とした行内外における研修を実施しています。

(3) 地方公共団体事業との関係

当行は地域金融機関として、佐賀県や県内各市町村への融資・債券の引受け、各種情報提供などを通じて、地域社会のよりよい環境づくりのための協力を行っております。

また、佐賀県や佐賀市・唐津市などの県内各市町村の指定金融機関として、税金収納などの公金事務の取り扱いを担当しています。

平成16年9月末現在、県内50の地方公共団体の内、31団体より指定金融機関を受託し、38名を派遣、1,562億円の地方債を引受けしております。

4. 地域への各種支援活動の状況

(1) 文化支援活動の状況

当行では、美術・音楽・演劇等を通して文化の向上をはかり、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的として、平成2年12月に財団法人佐賀銀行文化財団を設立しました。

文化財団の活動を通して地域の皆さまへの文化情報の発信や、若い芸術家の育成など地域文化振興のお手伝いをしております

ニューイヤーコンサート

新しい年を豪華なオーケストラの調べでお迎えいただいております。平成16年1月8日に開催し、13回目を迎えました。

ウエズデイコンサート

毎月第2・3水曜日のお昼休みに本店ロビーでミニコンサートを開催しています。平成16年9月までに累計で278回開催いたしております。

佐賀銀行文化財団 新人賞の贈呈

佐賀県内在住もしくは出身の将来性豊かな若い芸術・創作活動家に賞及び副賞を贈り、その活動を称揚しています。平成15年度は片淵敬徳氏(洋画家)、藤井剛氏(陶芸家)のお二人が受賞されました。(受賞累計34名)

(2) 福祉支援活動等の状況

佐賀銀行社会福祉基金

昭和51年に創立20周年と新本店竣工を機に、社会福祉の充実を図るための助成を行うことを目的として設立し、毎年当行役職員からの寄付などをもとに、社会福祉事業団体へ贈呈しています。

ときわ安全協会の

当行が交通安全定期預金、がん保険付定期預金、さぎん総合入院保険付定期預金(あんしん)をお預かりする際に、会員(預金者・被保険者)のために契約者として保険の締結を行っております。その事務手数料収入のうちから毎年、県交通安全協会に道路横断旗を寄贈しております。

「1%(ワンパーセント)クラブ」への入会

当クラブは、経常利益の1%以上を自主的に社会貢献活動に支出することを約束する企業と個人をメンバーとするものです。

「小さな親切運動」さぎんの会、佐賀銀行献血会

「小さな親切運動」さぎんの会では地域社会に対する奉仕と潤いのある明るい社会づくりを目指して、清掃奉仕をはじめ、あいさつ運動などさまざまな活動を続けております。

また、佐賀銀行献血会では、毎年2回献血活動を行い、積極的に献血に協力しています。

ボランティア休暇制度

行員の地域社会活動を積極的に支援するために取り入れた制度で、様々なボランティア活動や自治会活動、消防団活動などに行員が参加しやすくするためのものです。

「おもいやりBOX」の設置

全店の窓口に「おもいやりBOX」を設置し、書き損じハガキや使用済み切手の収集を行い、ボランティアグループなどへ寄贈しております。

(3) 環境問題への取組み

「ゼロエミッション」への取組み

コンピュータ用紙・各種文書類・新聞・蛍光灯などを焼却や廃棄処分にせず、種類ごとに分別回収し、リサイクル業者に委託して再生するリサイクルシステムを構築し、ゼロエミッションを目指しています。

以上